



Atsugi City Board of Education
厚木市教育委員会だより

エデュ ナビ

Edu Navi

Education is a Navigation for the Future

学びを支える

特別支援教育介助員



マスクの着用が困難な場合は、机間の距離を空け、部屋を十分換気しながら学習活動を行っています



「おかえり」。子どもが特別支援教室に戻ってくると、温かく迎え入れる声が聞こえてきます。

声の主は、特別支援教育介助員。障がいのある児童・生徒の安全確認や、移動・食事・身の回りの整理などを支援する学校の職員です。子どもの自立と社会参加に向けて持てる力を伸ばし、生活や学習をする上での課題を改善していく「特別支援教育」を進める上で、なくてはならない人材です。

今、市立小・中学校では、介助員が不足しています。子どもたちに寄り添いながら、できることを一つ一つ増やす手助けをしてみませんか。

子どもたちの成長を支える熱意ある方を募集

- ①特別支援教育介助員 (障がい児の介助)
 - ②学力ステップアップ支援員 (教員の学習指導補助)
 - ③日本語指導協力者 (日本語が十分に理解できない児童・生徒の支援)
- いずれも、勤務内容、勤務条件の詳細は、教育指導課(☎225-2660)にお問い合わせください。



上依知小学校 介助員 津久田 文さん

昨年度は藤塚中学校、今年度から上依知小学校で介助をしています。中学校では、生徒の行動は落ち着いていましたが、年頃ならではのコミュニケーションの難しさがありました。小学生は、元気いっぱい動き回る子が多い印象です。目を合わせてくれた、あいさつをしてくれたなど、心の距離が近づいたり、成長が感じられたりすると、とてもうれしく、やりがいを感じます。これからも、一人一人違う個性や障がいの程度に合わせ、楽しい学校生活を送る手伝いをしていきたいと思ひます。



コロナに負けないあつぎっ子

ウィズコロナ時代の学校生活



学校生活に大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症(コロナ)。「学校は『三つの密(密閉、密集、密接)』になりやすい」「再び休校になってしまったら」など、不安を感じている保護者の皆さんも多いのではないのでしょうか。今回は、できる限り感染リスクを下げる「学校の新しい生活様式」を紹介します。

紹介する事例は、全校で実施しているものではなく、各校、それぞれの実情に応じて感染防止に取り組んでいます。また、記事は1学期終了時点の状況を基に作成しています。感染状況の変化により、対応が変わる場合があります。

厚木市のコロナ対応

- 2月27日 国が全校一斉休校を要請
- 3月4日 市立小・中学校を臨時休校
- 3月16日 小学校校庭・学校図書館を一部開放
- 4月6日 学校再開。入学式・始業式実施
- 4月7日 緊急事態宣言発出により再度休校。教室を自学自習の場所として開放
- 5月7日 休校期間を5月31日まで延長
- 5月25日 神奈川県などの緊急事態宣言解除
- 6月1日 分散登校開始
- 6月23日 全員登校開始
- 6月26日 給食を部分的に開始
- 8月6日 夏休み開始
- 8月19日 2学期開始

寄付を頂きました

- マスク・除菌グッズなど (株)XINS、(株)厚木教材社、(株)カーレントサービス、(株)石井
 - フェースシールド (株)ノジマ教材、たかたみ薬局
 - 感染予防注意ステッカー (株)サトー
 - 除菌電解水給水機 佐藤電工(株)
 - 簡易防護エプロン 相模ゴム工業(株) (8月1日時点 敬称略)
- 心温まるご支援、ありがとうございました。

教育長コラム 日直 曾田 高治

みらいの種



中学生のキモチ

◆マスクが暑い、汗をかくと気持ち悪い(3年) ◆感染は怖い、自分は感染しないと思っている人はもっと怖い(1年) ◆休校中になってしまった!(2年) ◆文化祭などの行事をできる範囲で思い切り楽しみたい(3年) ◆進みの早い授業についていけない不安(2年) ◆小学校の卒業式では、練習していた歌を歌えず残念だった(1年) ◆家にいる時間が増えて家族との会話が増えた(2年) ◆もつと部活動をやり切った(3年) ◆友達とのソーシャルディスタンスは寂しい(2年)

小学生のキモチ

◆手洗いをいっぱいしている、正しい洗い方を覚えられた(3年) ◆熱が出たら怖い(6年) ◆マスクを外して友達とじっくり遊びたい(3年) ◆すぐに先生に質問できるから、学校が始まって良かった(2年) ◆みんなで修学旅行に行きたい(6年) ◆給食はおいしい!と改めて思った(4年) ◆プールに入りたかった(2年) ◆休校中にお母さんと料理をして、うどんと野菜炒めを作れるようになった(6年) ◆地域のお祭りや子ども会の活動がなくなって寂しい(2年)

登校したら、最初に健康観察表を提出(①)。忘れた場合は別室で検温(②)。一定以上の熱がある場合は保健室などで確認。教室に入る前に手指を消毒(③)。密を避けるために時差登校を実施している学校もあります。



子どものストレスサインに注意!

コロナによる生活の変化は、表面上元気に見えても子どもたちに多くのストレスを与えています。メンタルヘルスの悪化は、いじめ、暴力行為、不登校、引きこもりなどにつながるリスクを高めます。子どもの小さな変化やつぶやきを見逃さずに対応していくことで、未然に予防ができます。お子さんに心配な様子が見られたら、教育委員会にご相談ください。

青少年教育相談センター
相談方法：来所・訪問(要予約)、電話、メール(市HP)
相談日：平日9時～17時(火曜は20時まで)
電話：221-8080

PICK UP コロナ対策

林中学校

体育のソフトボールでは、共用のグローブを使うため、生徒は手袋などを身に付けて、直接グローブに触れないように工夫をしています。

玉川小学校

校庭に間隔を空けて椅子を置いた「玉川小野外音楽ホール」を設置。音楽の時間に、豊かな自然の中でみんなで歌唱や演奏をしています。



授業

体育の授業以外では原則マスクを着用(④)。机はできるだけ離します。必要に応じて、先生はフェースシールドを着用(⑤)。教室では、エアコン使用時も窓や扉を開放して室内を換気(⑥)。合唱やリコーダー、密集する運動、調理実習、対面でのグループワークなど、リスクの高い活動は、感染症対策を徹底した上で実施していきます。

保護者のキモチ

◆学習内容のカットや遅れが心配 ◆先生による授業、栄養バランスの良い給食、友達との交流という当たり前の学校生活に改めて感謝している ◆再度の休校に備え、オンライン授業の実施に期待したい ◆夏休みが短く、子どもを旅行に連れて行けなくて残念 ◆担任の先生と会えていないので、話をする機会がほしい ◆子どもが新しい生活様式に対応できたようで、ほっとしている ◆コロナに対する気の緩みが心配 ◆市には先生の負担を減らす対策をしてほしい

先生のキモチ

◆マスクをしていると表情が分かりづらく、コミュニケーションが取りづらい ◆せつねの減りが早くうれしい ◆1・2年生が部活動を通して3年生と関わりを持ち、多くのことを学んでほしい ◆制限が多い中、子どもたちが工夫しながら楽しむ力を持っていることが分かりうれしかった ◆目指してきた部活動の大会がなくなってしまう、とても残念 ◆卒業式ではPTAの方々が工夫や協力をしてくださり、子どもたちがとても喜んでくれた ◆シーンとした給食が寂しい ◆教育活動を制限することにもどかしさを感じる

手洗い

教室に入る時、咳やくしゃみをした時、給食の前後、掃除の後、トイレの後、共有の物に触った時の六つのタイミングで丁寧に洗います(⑧⑨)。手洗い場は間隔を空けて並びます(⑩⑪)。手洗いソングを流しながら、洗う学校もあります。

給食

「手洗い後はどこにも触れない」を徹底。子どもたちは同じ方向を向いて座り、静かに食べます(⑫⑬)。給食当番は、手指を消毒(⑭⑮)。使い捨て手袋を着用する学校もあります(⑯⑰)。

休み時間

接触を避け、ソーシャルディスタンスを保ちます。学校図書館では本の消毒(⑱)、校庭では学年ごとに遊ぶ場所を決めている学校もあります。

放課後

先生が教室やトイレ、廊下などを清掃しています(⑲⑳)。ドアノブ、手すり、スイッチなど、特に多くの人が手を触れるところは、1日2回以上消毒液を使用し拭いています。

地域・PTAの皆さんがボランティアで清掃や消毒に協力している学校もあります(㉑㉒)。今後は換気の良い状況で、子どもたちによるトイレ以外の清掃活動も始まります。

部活動

感染症対策を徹底し、生徒の体力、技能に応じて無理のないよう、6月末から段階的に再開。活動後に教職員が共用の用具の消毒作業などを行っています(㉓㉔)。



教育委員会の取組 教育委員会が実施している新型コロナウイルス感染症対策を紹介します。

- 経済的支援**
 - 充実した学校生活を応援する久保奨学金の「学校教育活動応援奨学金」と高校などへの「入学準備奨学金」について、対象人数を10人ずつ拡大。
 - 経済的理由により、就学困難な児童・生徒の保護者に対して、休校中に負担した食費の一部を補助。
- 人的支援**
 - 感染防止対策など、業務が増加する教員をサポートする「スクール・サポート・スタッフ」(県職員)を採用して小・中学校に配置。
 - 休校による学習の遅れを取り戻すため、補習などに対応する非常勤講師を増員。また、夏休みの短縮に対応するため、非常勤講師の任用期間を延長。
- 物品の支援**
 - 発熱のある児童・生徒を別室で待機させるためのエアベッド、パーテーション、スポットクーラー、非接触式体温計、ビニール手袋などを購入。国の補助金を活用し、換気や暑さ対策のための扇風機、清掃の負担を減らすモップ・掃除機など、各校が物品を購入する予算を配当。

教育Keywords



GIGAスクール構想

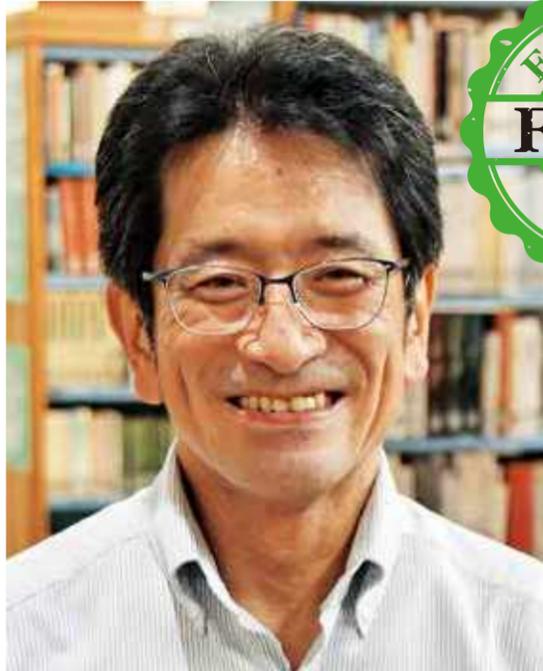
国は、全児童・生徒に1人1台の学習用端末を整備する「GIGAスクール構想」を前倒して実現する方針を示しています。市でも、事業費の一部に国の補助金を活用しながら、学校における高速大容量のネットワーク環境の整備を進めています。

- 一人一人の理解度や進度に応じた学習環境の提供
- 情報活用能力や表現力などの向上
- 対話的な双方向授業の展開

新型コロナウイルス感染症が全国的に再び広がる中、市立の学校において感染が確認されました。学校の再開から教育現場を見て回りましたが、どの学校でも、きちんと手を洗ったり距離をとって並んだりしている子どもたちや消毒活動などをボランティアでお手伝いしていただいている保護者・地域の皆様、先生たちの知恵を絞った感染防止対策を見ることができていただけに、残念で申し訳ない思いでいっぱいです。

しかし、感染症対策に絶対というものはない、リスクをゼロにすることが難しいのも現実です。学校の規模や実情に応じて、より良い対策について考え続け、具体的な手立てを講じていくしかないと思っています。

感染状況は、予断を許さない状況です。今後も引き続き、危機意識をもって感染防止に取り組んでまいります。感染は、誰の身にも起こり得ることで、感染してしまつた方に対する不当な偏見やいじめはあつてはなりません。このようなときこそ、自分の頭で考え、正しく行動できる子どもたちを保護者・地域の皆様と共に育てていきたいと改めて強く感じています。



「認知症に対する偏見をなくしたい」と話す田中さん



人が集い、つながる図書館に

厚木市図書館協議会委員 田中克明 さん(57・元町)

図 書館の運営などについて意見を述べる図書館協議会の委員を務めています。サラリーマンとして働く私が図書館と関わりを持つようになったのは、7年程前のことです。同僚の親御さんが認知症になり、仕事に電話がかかってくるなど、大変そうな様子を見ていました。私はおばあちゃん子でしたので、高齢者やその家族が直面する問題に興味を持っていました。認知症フレンドリージャパン・イニシアティブ(D F J I)の活動を知りました。

D F J Iは、企業、自治体、N P Oが認知症という課題に対して何ができるかを考え、共に住みよい社会をつくっていくと行動する団体です。活動に参加し、イギリスの図書館の取り組みを視察してみると、日本でもできるのではないかと思います。その後、理念に賛同してくれた大学の先生や自治体の職員の方々と「認知症にやさしい図書館プロジェクト」をスタートさせました。

プロジェクトでは、図書館職員などの求めに応じて、認知症に関する本を集めたコーナーを作ったり、D F J Iのネットワークを生かして人材を紹介したり、認知症にやさしい施設の在り方を助言したりしています。厚木市では、9月21日の世界ア



特別展示の展示方法を検討

ルツハイマードーに合わせ、認知症への理解を深める催しを開くので、図書館でも特別展示を実施します(左欄参照)。こうした図書館づくりをきっかけに、多様な世代、立場の人たちが共生できるまちづくりにつなげていければうれしいです。

普段何気なく利用している図書館ですが、運営の仕方次第でその可能性をもっと広げられると感じています。図書館は、決して無料の貸本屋ではありません。多世代が集える空間であり、人々が程よい距離感で安心を共有できる場所でもあります。厚木市は大小さまざまな企業、学校、病院、公園、観光地など、多様な顔を持つまちです。図書館がそれぞれの分野の情報の拠点となり、まちに広がるさまざまなネットワークを生かして人と人を結び付けることができれば、厚木の図書館の魅力的な個性になると思います。

あつぎオレンジフェスタ 特別展示

認知症の人も、そうでない人も、認知症のことを少し知ることから始めませんか。認知症になった方の体験記や、ご家族に向けた介護の方法、懐かしい会話が弾む紙芝居、子ども向け絵本などを紹介します。



約80点を展示する予定

【期間】9月1日~30日

中央図書館 ☎225-2570

おうちで給食 レシピ

カツオのごまだれ

疲労回復、貧血予防に!

今回は、春と秋に旬を迎えるカツオを使ったレシピ。甘辛い味付けで、魚が苦手な子どもでも食べやすい人気のメニューです。

材料(4人分)

- ・カツオ角切り…200g
- ・片栗粉…適量(カツオにまぶす用)
- ・揚げ油…適量
- ・しょうが、にんにく…すりおろし少々
- ・砂糖…10g
- ・本みりん…小さじ1
- ・しょうゆ…大さじ1と1/2
- ・白いりごま…5g
- ・水…適量
- ・片栗粉…適量(タレのとろみ用)

作り方

- ①しょうが、にんにく、砂糖、本みりん、しょうゆ、ごま、水をひと煮立ちさせ、水溶性片栗粉でとろみを付ける。
- ②カツオに片栗粉をまぶし、油で揚げる。
- ③揚げたカツオに①を和え、味をなじませる。

人気の給食レシピを市ホームページに掲載

厚木市 給食レシピ [検索](#)

ひと口メモ

カツオは、春に黒潮に乗って太平洋側を北上、秋に南下する回遊魚。春の「初カツオ」はさっぱりとした味、秋の「戻りカツオ」は脂が乗ってもっちりとした食感です。

今回の味付けは、カツオだけでなく、豚肉の角切りなどでもおいしく食べられますよ。

数字で見るあつぎの教育

Q これって何の数字?

10人以上

A Jリーグとなでしこリーグに登録されたことのある厚木市出身の選手の数です。

(令和2年8月調べ)

2006年FIFAドイツワールドカップ(W杯)メンバーの茂庭照幸選手や、W杯とオリンピックで活躍した永里優季選手など、10人以上を輩出しています。この中には、厚木市を本拠地にJリーグ参入を目指す「はやぶさいレブン」に加入した永里源気選手もいます。

厚木市出身の現役Jリーガー

ジャーメイン良選手(25) = ベガルタ仙台、青木翔大選手(30) = ザスパクサツ群馬、松橋優安選手(18) = 東京ヴェルディ1969、岡崎亮平選手(28) = FC琉球、佐藤尚輝選手(24) = アスルクラロ沼津



北小学校での巡回授業

現在では、5人の選手がJリーグに登録。市出身の選手が国内最高峰のリーグでプロとして活躍していることは、とても誇らしいですね。

厚木市は、湘南ベルマーレのホームタウンです。市内の小学校では、チームのコーチがボール運動を指導する「小学校体育巡回授業」が実施されています。また、Jリーグ公式戦の1試合を厚木市の冠試合とする「ホームタウンデー」を開催しています。

市HPでは、湘南ベルマーレの選手やジャーメイン選手などによる、トレーニングやストレッチの動画を公開しています。挑戦してみたいはいかがですか。

厚木市 自宅で簡単 トレーニング [検索](#)

info インフォ

親子のための 耳より!

チャレンジ!

間違えやすい漢字の書き順

皆さんは、漢字の書き順に自信はありますか。自分では分かっているつもりでも、書く時に迷ったり、間違えて覚えたりしていることがありますよね。そこで、今回は間違えやすい漢字の書き順クイズです。レッツ!チャレンジ!



なぜ必要?正しい書き順

正しい漢字が書ければ、書き順の正しさは必要ないと考える方もいるかもしれませんが、書き順は文字を書く際の基本です。

書き順は、字がバランスの良い美しい形になるように決められています。法則を知れば、難しい漢字になっても、自然と書き順が分かり、覚えやすくなります。

答え 問1 3画目 問2 4画目 問3 9画目 問4 6画目 問5 5画目

問

次の漢字の赤字の部分は 何画目でしょうか。

問1

年

問2

飛

問3

厚

問4

卵

問5

凸